

報道関係各位

2020年10月21日

株式会社ソリトンシステムズ

クラウドアプリのための Single Sign-on サービス、 「Soliton OneGate」の新版をリリース、 デジタル証明書＋FIDO2 の多要素認証を実現

株式会社ソリトンシステムズ(代表取締役社長:鎌田信夫、以下ソリトン)は、ID 認証サービス(IDaaS)「Soliton OneGate」の新バージョンを10月21日より、提供開始します。

企業のクラウドサービス利用が普及する中、アクセスのための厳密な、使いやすい認証方式が求められています。同時にクラウドサービスが増える毎に増加する一方の利用者アカウントの管理も大きな負荷になりつつあります。Soliton OneGate は様々なクラウドサービスへのシングルサインオンとID管理を自動化するために開発されていますが、今回、さらに多様なユーザーの利用に合わせ、Soliton OneGate が発行したデジタル証明書による Wi-Fi/VPN 認証、FIDO2 生体認証によるパスワードレス認証、既存の社内システムへのシングルサインオンをサポートしました。

これにより、ネットワーク認証から社内外のアプリケーション利用までの多要素認証を実現しています。主な項目は以下の通りです。

1. NetAttest EPS-edge でオフィス Wi-Fi セキュリティを容易に、手早く強化

Soliton OneGate 新バージョンでは、フリーアドレス運用を促進するクラウド管理型 Wi-Fi/VPN 認証をサポートします。多くの利用実績を誇る認証アプライアンス「NetAttest EPS」のラインナップに、ゼロコンフィグ型でクラウド管理できる「NetAttest EPS-edge」を追加。デジタル証明書による強固な Wi-Fi 認証を簡単に導入できるようになりました。

2. FIDO2 をサポート、デジタル証明書と組み合わせ、パスワードレス多要素認証が可能に

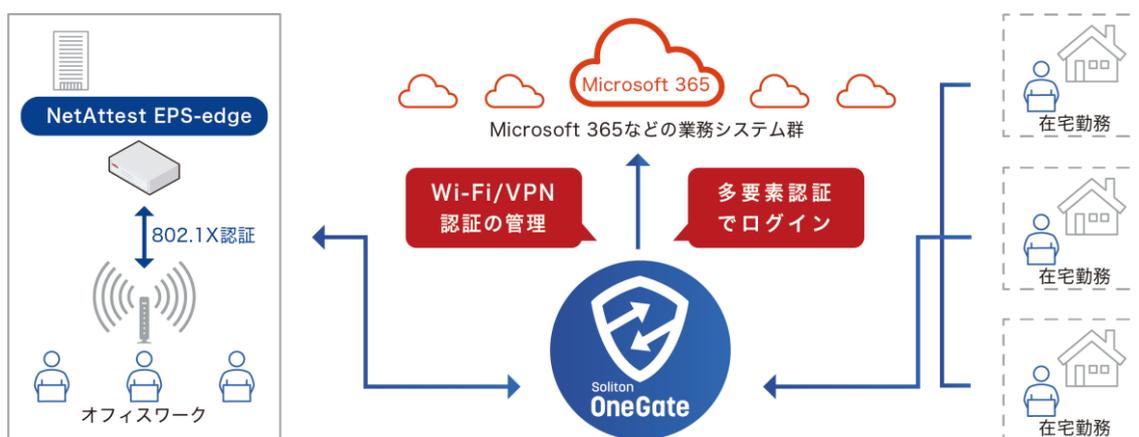
不正アクセス対策として多要素認証のニーズが高まる一方で、利用者には使い易い認証方法が求められています。OneGate 新バージョンでは FIDO2 認証を新たにサポートし、デジタル証明書＋FIDO2生体認証という、利用者の負担少ない多要素認証が可能となりました。

3. 代理認証 SSO (Single Sign-on) アプリが社内システムのパスワード管理負荷から解放

アプリケーションごとに異なるパスワードを記憶することは、利用者に結構な負担です。

Soliton OneGate 新バージョンでは、パスワード認証が必要な複数のアプリケーションに対して、シングルサインオン出来る代理認証 SSO アプリを新たに提供し、利用者の利便性、生産性を大きく向上させます。

既存システムを変更する事なく利用でき、ブラウザベースのアプリケーションからスマホのネイティブアプリまで幅広くサポートし、PC だけでなくスマホでもシングルサインオンが可能となります。



Soliton OneGate

【提供開始】2020年10月21日

【製品ページ】<https://www.soliton.co.jp/onegate/>

【株式会社ソリトンシステムズについて】

設立以来、ソリトンシステムズは IT・エレクトロニクス業界にあって、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて」を実現してきました。近年は、認証を中心とした IT セキュリティからサイバー対策製品まで、また、携帯電話回線 4G、5G や Wi-Fi を利用したハイビジョン・レベルの映像伝送システム、リモートドライブなどに取り組んでおります。国産メーカーとして、オリジナルの「もの創り」、「独創」にこだわった製品とサービスを提供しております。

設立：1979年、売上155億円(2019年12月期・連結)、東証1部

HP: <https://www.soliton.co.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/soliton.s/>

Twitter: @soliton_jp



News Release

【 Soliton OneGate に関する問合せ先 】

株式会社ソリトンシステムズ IT セキュリティ事業部

Tel: 03-5360-3811 netsales@soliton.co.jp

【 このリリースに関するマスコミからの問合せ先】

株式会社ソリトンシステムズ 広報

Tel: 03-5360-3814 press@soliton.co.jp